



座光寺風景

令和最初の文化祭を記念して、 人文字「令和」

令和初の文化祭。今の私たちの姿を記録に残そうと、150人以上が集まり集合写真で人文字を撮影しました。

座光寺地区の皆様には、日頃より壮年団・麻績神社若連中の活動に對しまして、ご理解・ご支援いただいておりますことに感謝申し上げます。また、四月四日、五日に開催を予定しておりました春祭りにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が著しい状況を受けて、慎重に協議し健康と安全を考慮いたしました結果、止む無く延期とする運びとなりました。

お忙しい中、これまでにご協力頂きました地区の皆様におかれましても感謝申し上げますと共に、皆様には安心してご参加頂けるよう引き続き努めて参ります。

現在、この歴史ある麻績神社春祭りを秋祭りに開催できますよう準備を進めております。若連中が一九となり務めるのはもちろんの事、地域の皆様のお力もお借りして開催・無事奉納・受け継いでいくことも我々の責務です。

座光寺地区の皆様には、引き続きのご支援をお願いすると共に、皆様一緒に盛大に開催できることを願っております。

守り、伝える
麻績神社若連中
代表 三村章文

若連中一同、皆様の心に残る秋祭りしていきたいと思っておりますので、今一層のご理解・ご支援頂きますようお願い申し上げます。

なお、今年獅子曳きを演じられますのは、

- 梅王・久保田康介くん (市場通り地区)
- 松王・鈴木匠海くん (唐沢地区)
- 桜丸・北原廉士くん (恒川地区)

越後獅子を演じられますのは、

- 湯沢美希さん (河原地区)
- 井原安海さん (唐沢地区)

是非、楽しみにお待ちしております。



今秋、獅子曳きを演じられる三名
右から鈴木君、久保田君、北原君

飯田市男女共同参画推進事業者等表彰受賞

令和元年度の飯田市男女共同参画推進事業者等に、座光寺地域自治会が表彰されました。

この表彰は、男女共同参画の推進に関する取り組みが積極的に進められていて、性別に関わりなく働きやすい職場づくりに取り組んでいる事業者や団体等が表彰されるもので、平成二十年度から毎年行われています。

座光寺地域自治会は、女性委員の割合が四四・五%と二十地区の中で一番高く、積極的な女性登用が評価されました。これは、平成十九年度の新たな自治組織の発足から各委員会に女性委員枠を設けて選出してきたことによるものです。今年度は環境衛生委員会と生活安全委員会において女性委員長も誕生しています。

また、公民館では、女性委員会を組織し女性目線での活動を行ってきたり、そこから発展して「座 女子力」が誕生し地域の様々な活動に参画したりと、女性の視点で元気な地域づくり活動が行われていることも評価の一因です。

飯田市男女共同参画推進委員からは、「これらの取り組みは、女性が活躍できる場の提供を地域として行ってこられた結果であり、今後も地域づくりの重要な視点である」との評価をいただきました。

表彰は、三月一日の「第二十五回市民のつどい」で行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため大会が中止となったことから、市役所にて市長より表彰を受けました。

これからの地域づくりに女性の目線とパワーは欠かせません。この表彰をきっかけに益々の活躍と新たな女性グループの誕生を期待したいと思います。

(座光寺地域自治会)



自治会表彰

【感謝状】

●前民生児童委員

上沼 明夫 様

民生児童委員として二期六年の御活動

●前民生児童委員

熊谷八千代 様

民生児童委員として二期六年の御活動

●前主任児童委員

湯沢 美鈴 様

主任児童委員として二期六年の御活動

【表彰状】

●座光寺小学校六年生

今年一年間の地域内外での六年生の御活躍

民生児童委員の任期を終えて

上沼 明夫

平成二十五年十二月から六年間、民生児童委員として児童福祉や社会福祉の増進に、微力ではありましたが活動してまいりました。

この度は自治会から表彰をいただき、大変恐縮しております。何とかやって来られたのも自治会をはじめ、民生児童委員協議会や地域の皆様のご支援があったからと、心か

ら感謝申し上げます。

さて、少子高齢化の時代となり久しく、飯田市でも高齢化率が、人口の半分を超えている地域もあります。座光寺では、まだそこまでになっていませんが、色々な福祉課題が山積しています。しかし自治会や関係機関、各地区等の繋がりを大切に、協働をしていけば安心で暮らすことが出来る地域になると確信しています。

ところで、私が委員になった当初は、業務内容も満足に分からず戸惑いましたが、一期目を終える頃には、どうにか関係する各方面と連携を取りながら活動できるようになりました。

そのようなことから、委員を一期で辞めるのはとても残念な気がします。自分の都合や地区で順番が決まっている等、様々な制約もあると聞いていますが、より良い地域づくりのため、出来れば二期以上の継続が望ましいと強く感じました。

かく言う私は、今まで地域のために何が出来たか心もとないのですが、これからは可能な範囲で、お役に立てればと思っています。



特にがんばったりんごん

座光寺小六年 久保田優希

私は、りんごんなどの行事でがんばって良かったと思えました。私は陸上をやっていたので、りんごんのおどりをがんばろうと思えました。授業では、岩井さんが先生となっておどりを教えてくれました。岩井さんはおどりがとても上手くて、細かいポイントまで教えてくれました。当日は岩井さんの教えてくれたポイントを中心に心掛けておどりました。みんなの息もピッタリで、すれちがう方々が声をかけてくれて、これがいっぱい楽しかったです。結果、調和賞や種まき大賞を受賞できてうれしかったです。これからも、地域を盛り上げていきたいです。

令和元年度
森の里種まき大賞

座女子力
やったー！種まき大賞！

原田 薫

公民館女性委員の会より昨年の四月に独立しまして、まだ一年も経っていないのですが、このような立派な賞を頂けて大変嬉しく思います。

いろんな方々の御協力に感謝、そして現在十三人で女子力の活動をしていますがい仲間達に恵まれ楽しく活動できる事に感謝感謝の気持ちでいっぱいです。

地域の行事に積極的に参加させて頂き、「女子力」をアピールできたらと思っております。これからも元気で明るく、自分達のモットー自分達から楽しもう！！で地域を少しでも元気になるよう、盛り上げていけたらと思います。



この賞を頂けたことを励みに、ますます張り切って活動が続けていきたいと気持ちを新たに頑張ります！

高岡子ども会

座光寺小六年 今村 旬

僕の住んでいる地区は、高岡地区です。六年生になって高岡地区の子供会の地区長になりました。地区児童会では、今年一年間行う活動をみんなで見えを出し合いました。その結果、高岡森清掃と高岡の地下道掃除を行うという意見が出たので、今年度行うことを決めました。お家の方々にも手伝っていただいて、地下道掃除は、月一回第二土曜日に行い、高岡森掃除は、五月と十月に行いました。清掃活動は、朝早い時間から大変でしたが、みんな協力したことで、高岡の地下道や高岡森をきれいにできたので良かったです。僕は、小学校を卒業するけど、この



ことをやらせていただき色々な活動が出来た事をうれしく思いました。なのでこれからもずっときれいな座光寺を続けていってほしいです。賞をいただきありがとうございます。

「座光寺の子ども語る会」
文部科学大臣表彰を受ける
公民館長 塩澤 哲夫

令和元年十二月、文部科学省へ行き、表彰を受けてきました。

「地域学校協働活動として立派な成果をあげた」ということです。

地域・家庭・学校が一緒に育てようとする取り組みが、全国一〇〇団体の一つに選ばれての表彰です。

「座光寺の子どもを語る会」を大会として開催すること、会を推進する委員が各団体から参加し、情報交換し協



議し、具体的な行動を考えると、できることを動く、この循環が成果を上げる基になっています。

まさに日頃の皆さんの行動が、きちんと評価されたものです。

語る会に参加したお父さんが、「こういう会があつて、地域全体で子どものことを考えてくれることが本当に有難い。」と語ってくれました。

受賞を聞いた他地域の方は、「さすが座光寺だ。地域の想いと力が発揮されている。」と言ってくれました。

座光寺の誇りだと思いません。

これまでに、こういう会の必要さを思っ発案し、発足し、育てていただいた多くの皆様に感謝申し上げます。そこで、今後も、お一人お

ひとりが出来る事を、ほんとうに小さなことでも、子どもさんたちの健やかな育ちを願って、続けていきたいと祈っています。

座光寺の花
「しだれ桜」に決定

地域の皆様に公募してきました座光寺の花が「しだれ桜」に決定しました。

全戸配布と座光寺文化祭でのアンケートの結果一七五名三十三種類の花の候補が集まり、およそ半数の方が「桜」と回答いただき、中でも座光寺のシンボルである舞台桜や石塚桜などの声が多かった事から、「しだれ桜」を座光寺の花としました。

今後「しだれ桜」を用いて座光寺地区の魅力をアピールできればと思います。



令和元年度

座光寺地域文化祭

令和2年
2月1日(土)、2日(日)

繋がる力 ~明日への一歩~



今年も大盛況の屋台



座光寺小金管バンド (オープニングセレモニー)



座光寺小4年生人形劇「うらしまたろうのゆかいな旅」



麻績の里 音楽の集い



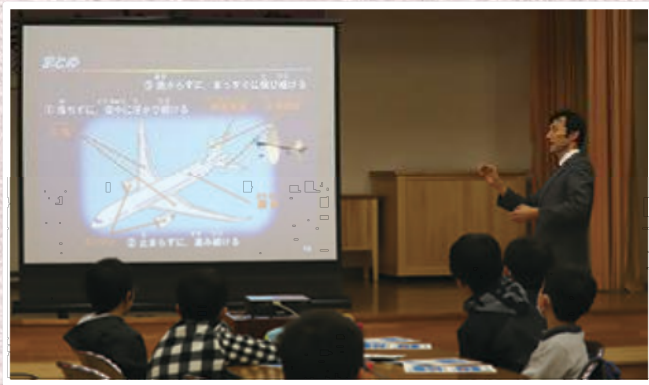
歴史講演会 (麻績史料館)



煙ハウス (消防団)



そば打ち体験



飛行機の不思議～模型飛行機をつくろう～（信州大学航空機システム共同研究講座協力）



飯田風越高校書道部による「書道パフォーマンス」



みんなで創る文化の祭典「繋がる力、明日への一歩」

文化部長 藤田 明彦

今年度の座光寺地域文化祭は、天候にも恵まれ両日にわたり大勢の方にお越し頂き盛況のうちに閉幕する事が出来ました。これも企画・出展等に携わって頂きました多くの皆様と、準備から開催まで御協力頂いた実行委員の方々の賜物と感謝致します。

さて、今年度は時代が平成から令和へと変わり迎えた最初の文化祭でした。

皆様の一年間の活動成果の発表展示をはじめとし、子供から大人まで参加でき、楽しめる体験型の企画や様々な催し物等、充実した内容にと考えて参りましたが如何でしたでしょうか？

今年度はテーマを「繋がる力、明日への一歩」と掲げ、新しい時代の扉を開くべく地域で活躍されている、各種団体・個人、また多くの活気溢れる若い力、そして多方面から支えて頂く地域住民の皆様との融合で創り上げ、想いを共有する中で生まれる「伝え合い伝わる力、繋がる心、力」が「明日への一歩」になると捉え開催を迎えました。

オープニングを飾って頂いた小学校の金管や人形劇をはじめ、二日間にわたり様々な展示・企画の中で参加協力を頂いた学校や学生の多くの若い力と、各種団体や地域住民の多くの皆様の力の結果と、また、令和元年度の記念として行なった地域住民の皆さんで作る「人文字づくり記念撮影」には、予想を超える大勢の人を集まって頂き、座光寺地域のまとまりと住民の力を感しました。

開催を通して大勢の皆様と共に、楽しむ、学ぶ、伝える、伝える、繋がる、そんな想いや力を少しでも感じて頂ければ、「みんなで創る文化の祭典」として、よりよいものになったのではないのでしょうか。

しかしながら反面、地域の皆様からは、開催にあたり様々な課題や宿題も頂いています。今後は、そんな課題とも対峙しながら、地域住民の方々が興味、関心を抱いて頂けるような魅力ある祭典を目指しますので、皆様のお力添え御協力の程をよろしくお願いたします。

渋谷区みぎりの環交流事業が開催される

当初は十月十二日に開催される予定でしたが、台風十九号襲来の影響で延期となり厳冬の二月二十二日に開催されました。

この交流事業は、飯田市と東京都渋谷区が二〇〇一年に「災害時相互応援協定」を締結。その協定書には市・区民の交流も盛り込まれており、座光寺地域自治会も交流事業の一翼を担っております。

今後の渋谷区民との交流は、「りんご」と「こども」をキーワードに、南アルプス・天竜川を望む絶景の大門原に「渋谷のりんごパーク(仮称)」を作り、四季を通じて来飯していただき、集い楽しめる場を提供することで交流を一層深めていくのを目的とし、今回は食の交流と体験交流を行いました。

当日は雨となつてしまい、雪に変わりそうな気温の中で、渋谷区より親子十四組と区民三名の総勢三十二名がバスで十二時前にエスボードに到着。早々に開会セレモニーとして、三村総務文教部部長の進行にて福田自治会長挨拶、渋谷区代表挨拶後、「食の交流」を行いました。昼食ではパノラマファームで収穫されたそば粉を使用した手打ちそば(パノラマファーム大門提供)と具沢山な、みそか汁(座女子力提供)本格白菜漬(総務文教部提供)座光寺産きのこ入り炊き込みご飯のおにぎりなどが出され、何れも完食でした。

食後は体験交流として、前日までにパノラマファーム大門のメンバーが準備してくれていた植樹場所へ移動し、座光寺のこども達と共にシナノスイート・シナノゴールド・秋映・ふじなどの四十本ものりんごの苗木を泥んこになりながら植えました。



悪天候の中、りんごの植樹体験



植樹後は再度エスボードにて「りんごを使ったお菓子作り」にチャレンジしました。地域の方が考案したレシピを基に、座女子力の指導により真剣にりんごの焼き菓子づくりに取り組みました。部屋中に甘酸っぱい匂いを充満させながら美味しく仕上がりました。

大好評のうちに終了。その後宿泊場所への移動となり受け入れ日程を終了しました。座光寺の児童・保護者、パノラマファーム大門、座女子力、座光寺地域自治会の協力頂いた方々ご苦勞様でした。りんごの木は寿命は五十年から六十年と長いと聞きまします。

この「りんご」をキーワードにして、座光寺の住民と渋谷区の住民のパイプが太くなり、息の長い交流になればと願います。(総務文教部)

新型コロナウイルスの影響が広がる

二〇一九年末、中国の武漢で流行が始まった新型コロナウイルスは、本年二月頃には国内でも感染が増え始め、二十五日には、県内でも感染者が確認されました。

二十五日、飯田市の新型コロナウイルス対策本部は、政府や県の方針に従い、感染拡大を防ぐためにイベント・行事等の開催自粛を要請し、座光寺地域においても様々な影響がありました。

自治会 公民館

市の対策本部から示された方針に従い、二月二十五日以降のスポーツ大会や乳幼児学級や桜まつりをはじめ、多人数が集まるイベントや視察研修などを中止。

▼小中学校

政府の要請をうけ、教育委員会会の決定により、三月二日(月)より臨時休校とし、そのまま春休みとなる。児童生徒は、臨時登校し三月十六日に終業式、十七日に卒業式を行ったが、感染防止のため、参加者を限定したり、時間を短縮したりするなど、規模を大幅に縮小して開催。

保育園

感染症対策を徹底し通常通り保育を実施。卒園式は、規模を縮小したものの、子供たちの思い出となるよう工夫。

▼高校入学試験

後期選抜を予定通り三月十日に実施。

▼麻績神社春祭り

四月五日開催の予定を延期

▼地域内の経済

各種イベントの中止などで、飲食店や商店では売り上げが昨年の五割から七割減少した店もある。本来なら年度末は売り上げの多い時期であることもあり、その影響が深刻となっている。

ドラッグストアでは、マスクや消毒用アルコールが欠品。トイレットペーパーやウエットティッシュなども品薄状態となり入手しにくい状況が続く。



店頭から消えたマスク

星空観察会

二月十五日(土) 星空観察会が開催され約四十人が参加しました。

今年の星空観察会は天気が良く近年にない好条件での開催となり、金星や、ベテルギウス、カノープスなどの星を観測することができました。

奥村茂実先生の解説によれば、オリオン座のベテルギウスは今、観測史上最も暗くなっており、もしかしたら近いうちに超新星爆発を起こすかもしれないとの事。もし超新星爆発が起これば、月くらいの明るさで爆発の様子を観察できるとの解説に、参加者は興味深く、暗く輝くベテルギウスを観察していました。

びっくりうれっく

星空観察会

座光寺小五年 塚平 陽介

ぼくは、星空観察会でびっくりしたこと、うれしかったことがあります。

びっくりしたことは、オリオン座の一つで、冬の大三角形でも有名なベテルギウスが暗くなっているということ。今、二等星にまで暗くなっ

ているというので、これからどなるのかなと少し心配になりました。

うれしかったことは、幸せの星、カノープスが見えたということ。カノープスを見ると長生きできると言われていた星を見れてうれしかった。周りの人たちも「見えた！」と言っていました。みんなで見るのができて良かったです。

プラネタリウムは、きれいな音楽にのせて月や火星の解説をしてくれて、楽しかったです。もっと星について知りたくなりました。



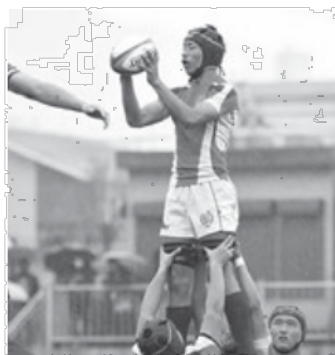
クラブ サークル 紹介

上郷ラグビースクール

三村 芳彦

今年、上郷ラグビースクールは創立三十七年を迎えました。上郷ラグビースクール基本方針は「勝つことは目標であるが、目的でない。楽しいラグビーと仲間づくりを目指そう」です。ラグビーはルールが複雑でわかりにくいという印象がありますが、やってみると意外に「自由なスポーツ」です。ボールを持って走ることができ、時にはぶつかり合うこともできます。そして、チームで戦うスポーツなので、「仲間を大切にすること」を養うことができます。

ラグビーに代表されるノースサイド精神、「一人はみんな



花園に出場された

上郷ラグビーの先輩から

所感

飯田高校 塚田 脩

花園出場に際して、座光寺の大勢の方々に多くの声援、多大な寄付を頂いたことに感謝します。初戦敗退という満足度のいく結果ではありませんでしたが、大きな経験となりました。今年は昨年よりも良い結果が出せるよう精一杯頑張ります。

高校ラグビー花園に出場して

中部大学春日丘高校 三村 和真

私は愛知県の中部大学春日丘高校へ進学し、花園へ出場させていただきました。花園ではとても多くの経験をさせていただき、支えてくださった方々へとても感謝しています。

座光寺の自然シリーズ 19
オオイヌノフグリ

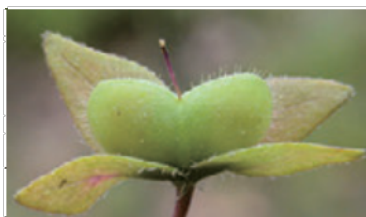
オオイヌノフグリは座光寺の春に咲くかわいい花の一つです。春とはいっても早い個体は暮れの十二月に花をつけていますし、春の間ずっと咲き続け、ときには六月初旬まで咲いています。また畑のやっかいな雑草ですが、澄んだ青い花の群がる様は美しいものです。

名前の由来

花の美しさとは別に「ふぐり」の意味を知ると、「なぜこんな名前？」と思います。これは多くの人の思いのようで、昔からいくつかの別名が提唱されましたが、いずれも消えてしまいました。標記の名があまりに定着、普通の人知れ渡ってしまったからで



オオイヌノフグリの花



果実；イヌの陰のう（ふぐり；精子をつくるところ）に似ているのが名前の由来

す。生物の名前は学名と和名があります。学名は最初に発見した人がラテン語で書いたものです。これは後で変えることはできません。それに対して和名は日本の名、皆が使って通用すればそれが新しい名になるのです。

由来は？

日本全国どこにもあって、多くの人が知る種類ですが、意外に外来種。ヨーロッパ原産で明治初期にすでに東京でみられました。日本在来種、オオイヌノフグリは昔は多かったです。後すつかり無くなり、今は希少種です。私も四十年ほど見たことがありません。

強さの秘密は？

いくつかあります。まず「冬型一年草」で晩秋に芽生え、冬の間ゆっくり成長して、早春に大きく繁茂する生活です。冬は他の植物が休んでいる時期です。競争相手がない間を主な生活時期にしています。次に結実率の良さです。写真の花を見てください。午前中は雄しべと雌しべが離れています。昼頃になると雄しべが曲がって雌しべに着いています。この結果ほとんど花が結実します。最初は虫によって他の花の花粉を期待し、うまくいかない自分花粉をつける・・・という作戦のようです。



午前中の花；2本の雄しべが左右に離れている。

では同じ花の花粉では花粉管が伸びないので受精しません。そこで受粉樹を用意して、「花つけ」をします。別系統の遺伝子を交配して子の遺伝子の多様性を確保することが種の維持や種の分化に繋がっているのです。その一方で確実に種子を作りたいから、種類によっては自家受精をします。初めに他個体の花粉を求め、うまくいかないと自家受精をして種子を確実につくる。実に巧妙ではありませんか。これが座光寺の春で埋める秘密なのです。



昼頃の花；左右の雄しべが曲がって中央の雌しべに近づいている

（伊那谷自然友の会・小林正明）

編集後記

二〇一九年十二月に中国武漢市で最初の新型コロナウイルスが報告されてから世界各地で猛威を振るうコロナウイルス、三月の時点で終息の兆しが見えていません。

日本でもマスク、アルコール消毒液の供給不足、学級閉鎖、イベント開催の中止、経済活動の縮小に伴う観光業、飲食業の売り上げ大幅減、日本人の海外渡航制限の発動、株価の下落など、私たちの暮らし、仕事、社会、経済に大きな影響が出ています。

政府はこれらを受け、新型コロナウイルスで影響を受ける事業者や労働者を支援するため融資や給付金の配布などを決めました。さらには緊急事態宣言を発令する事が出来るよう法改正し、鉄道や物流を担う会社に対し治療薬などの輸送の要請・指示、医薬品や食品を確保するために保管・売り渡しなどの要請、イベント活動の自粛の要請等を政府の指導のもとで行う事を可能にしました。

この社会的混乱がいつまで続くのか現時点では分かりません。我々出来る事は新型コロナウイルスを巡る日々の状況を的確に把握し、国や地方自治体、医療関係者、事業者、そして国民が一丸となって、感染症対策を更に進めていく事です。

（広報M）

